



感動の卒業式、そして、修了式、終わる

3月21日（木）、本校の**卒業証書授与式**を行いました。

職員朝会で、6年部の先生方が整列し、卒業式に向けた数々の準備に感謝の言葉を述べました。

6年部の先生方の言葉を受け、職員も、卒業生の門出を祝おうという心が更に高まりました。

御船町長議会の議長・森田優二様をはじめ、多数の来賓の皆様にご臨席賜り、華を添えていただきました。

それにしても、卒業生の態度はとても立派でした。子供たちの一生懸命さが伝わり、本当に**感動の卒業式**となりました。

そして、3月22日（金）、**修了式**でした。6年生のいない体育館で、少し寂しい思いがしました。私は以下のような話をしました。

いよいよ今年度の修了式です。

今年度は「やさしい人になる」という、**校長先生からのたった一つのお願い**から始めました。

この1年、本当に「やさしい人」が増えました。

例えば、昨日。この体育館で卒業式がありました。**6年生のお兄さんやお姉さんが、全力で返事をし、全力で呼び掛けの声を出し、全力で歌を歌いました。それはそれは、たいへん立派な態度でした。**上益城の中でも、最も歴史のある御船小学校の卒業生として、ほこれる態度でした。

あの6年生の堂々とした態度は、これまで育ててくださったお家の方々、地域の方々、そして、先生方への恩返しをしたいという、**6年生の「やさしさ」から生まれたのではないか**と思っています。

卒業式で、立派な態度だったのは、6年生だけではありませんでした。**5年生も立派な態度でした。**これも、6年生を、感動の卒業式で送りたいという、**5年生の「やさしさ」から生まれたのではないか**と思っています。

この1年間でやさしい人に成長した皆さん、よく頑張りました。

このような言葉で1年間を締めくくることができたのは、保護者の皆様、地域の皆様の御理解と御支援があったからこそです。1年間、本当にありがとうございました。

